

20+
ANNIVERSARY

2000年10月、21世紀を目前に控え精神的・文化的な活動の場として武雄市図書館・歴史資料館が誕生しました。開館前から市民の皆様の大きな期待を背負い、様々なボランティア等の活動に支えられながら今年10月に開館20周年を迎えることができました。

2013年には、大幅リニューアルし、新しいスタイルの図書館として様々なライフスタイル・ステージに合わせた空間に生まれ変わりました。また、2014年に武雄市が所蔵している「武雄鍋島家洋学関係資料」2,224点が一括して国の重要文化財に指定され、歴史資料館の存在意義が高まりました。更に2017年に敷地内に武雄市こども図書館を開館し、家族の憩いの場としてご利用いただいております。

これまでの皆様のご愛顧、ご支援に心より感謝申し上げます。これからも利用者の目線・立場に立った、そして市民生活をより豊かにする図書館・歴史資料館づくりを目指してまいります。

武雄市図書館・歴史資料館
館長 溝上 正勝



武雄市図書館・歴史資料館 20周年企画 ～振り返ろう！みんなの図書館～vol.7

2000年10月1日にオープンした武雄市図書館・歴史資料館。今年で20周年を迎えます。そこで、1年を通して、20年の歴史を振り返りたいと思います。今回は、2000年オープン当初の様子をご紹介します。



日本とオランダの旗が！日蘭交流400年の年だったんだよ。



開館当日の様子



緑の少年団による植樹



歴史資料館・蘭学館



貸出・返却カウンター

今でもカウンター
の場所は変わって
ないね！懐かしい



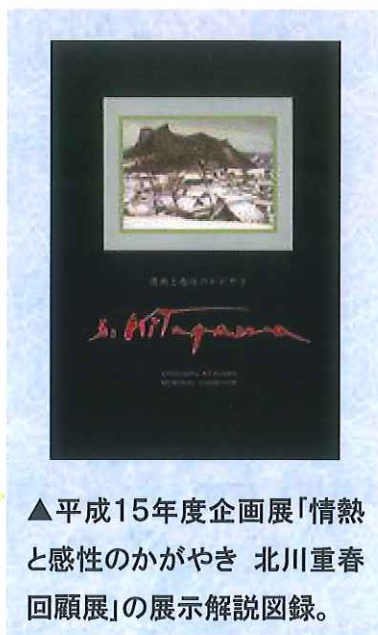
～振り返ろう！～歴史資料館編

昭和6(1931)年に武雄で生まれた北川重春は、^{きたがわしげはる}49年間の生涯のほとんどを慣れ親しんだ武雄・佐賀で過ごしなが、数多くの作品を描いた画家です。優れた画才を持ちながらも、誰にも師事をせず中央展への出展も拒み続けたことから、生前はほとんど無名に近い状態でした。

しかし、平成10(1998)年秋に佐賀県立美術館で遺作展が開催されたことをきっかけに、徐々に注目を集めるようになりました。同14年、彼の知人・友人らによって武雄市の御船ヶ丘梅林に画碑が建立されたことから、武雄での遺作展の開催を切望する声が多く聞かれるようになりました。そこで翌15年、その声にこたえる形で武雄市図書館・歴史資料館にて、企画展「情熱と感性のかがやき 北川重春回顧展」が開催されました。



▲「菊水堂画廊での懐古展」
 (『北川重春回顧展』(p.82掲載)より転載)



▲平成15年度企画展「情熱と感性のかがやき 北川重春回顧展」の展示解説図録。

北川重春の作品



▲腰掛けの女
 1962年、北川31歳の時の作品。
 第24回一水会入展選作品。



▲春遠からじ
 1963年、北川32歳の時の作品。



▲店
 1978年12月25日、北川47歳の時の作品。



武雄市図書館・歴史資料館

図書館 9:00~21:00/年中無休 <https://takeo.city-library.jp/>
 歴史資料館 9:00~17:00/月曜休館 <http://city.takeo.lg.jp/rekishi/his-top.html>
 (災害時等、緊急の場合は休館致します。) TEL 0954-20-0222 FAX 0954-20-0223

